

# ✿ 干布小学校だより

7月号 R5.7.25  
天童市立干布小学校  
校長 多勢 弘子

## 干布小・四谷小夏の交歓会 4年ぶりに開催

～全校児童・ジュニアリーダー・HVCが  
そろってお出迎え。50周年を祝う。～



7月21日（金）4年ぶりに四谷小の皆さんをお迎えしました。

東門から35名の四谷小の皆さんを乗せたバスが入ってくると、公民館前で待機していた子供たちは飛び上がり、手を振ると同時に歓声が沸き起こりました。

その後、小学校の体育館前でバスを降りた四谷小の皆さんを、干布小の子供たちでアーチをつくり公民館の玄関まで、拍手でお出迎えしました。

夏の交歓会がコロナ禍の3年間を経て、ようやく4年ぶりに開催できたかと思うと感慨深いものがあります。



2日目 キャンプファイヤー

昭和48（1973）年から交流が始まって50年。コロナ禍で中止になった3年間は、歴史あるこのつながりを絶やすまいとオンライン交流で繋いできました。

最初は互いに学校や地域の様子をビデオで紹介しました。その後、ネット環境が整備され、PCやタブレットでZoomが使えるようになったことで交流の場が広がりました。お互いの教室で画面越しに対話するだけでなく、2年前は、ひまわり迷路にタブレットを持ち出して、四谷小の教室へ生配信しました。

また、自分たちで育てた里芋を送り、それぞれの家庭をネットで繋いで一緒に芋煮を作って食べる「オンライン芋煮会」もやりました。

しかし、どんなにオンラインで工夫してみても、リアルの交流がしたかったはずで。今年は、その時の6年生たちが中学生となり、ジュニ

アリーダーとして、お手伝い側で初参加してくれたことにも、とても胸が熱くなりました。



4日目 ひまわり迷路にて

ようやく干布・四谷の仲間が公民館に集まり、いよいよ双方の代表がステージ上に立ち、握手の出番です。すると干布小代表は両手を差し出し、四谷小代表は左手で肩を抱き、まるで4年ぶりの再会を待ちわびたような熱い思いが伝わる握手の光景でした。

\*

4年ぶりの開催に際し、子供育成会の方々をはじめ保護者や地域の多くの方々の多大なるご尽力に深く感謝いたします。

## ◆1 学期終業式◆ 代表あいさつ

### 1 学期をふり返って

#### 3 年生代表

わたしが1 学期がんばったことは3 つあります。

1 つめは、国語です。とくに、「まいごのかぎ」の学習をがんばりました。この話はとても長く、出来事を読みとるのがとてもむずかしかったです。これからは学習がどんどんむずかしくなっていくので、先生や友だちの話をしっかり聞いて自分の考えを広げたいと思います。

2 つめは、体いくの水泳です。わたしは水に顔をつけることが苦手で、泳ぐことができません。しかし、水泳のすきなところもあります。中間休みにたくさん遊んであつくなってから入るプールは、とても気持ちがいいです。にがてなことでも、その中で楽しいことを見つけていきたいと思います。

3 つめは、自てん車にのることです。4 月にはじめての自てん車教室がありました。自てん車にのることが苦手だったので、家でたくさん練習をしました。じょじょにのれるようになったのが、おもしろかったです。

2 学期は、今までよりも苦手なことにたくさんちょうせんしたいです。苦手なこともあきらめず、ちょうせんしつづければ楽しいことを見つけたり、とくいになったりするかもしれません。苦手なことにちょうせんして、1 学期よりもせいちょうした自分になりたいです。

## 8月 主な行事予定

10日(木)	学校閉庁 ~17日(木)
21日(月)	安全点検
22日(火)	2学期始業式 学校保健委員会①
23日(水)	さわやか週間② ~30日(水)
	発育測定(1~3年)
24日(木)	発育測定(4~6年)
	委員会活動(9月計画)
25日(金)	夏休み作品展 6年室町文化体験(茶道)
27日(日)	P T A奉仕作業
29日(火)	朝会(歌)



1、2年生が短冊に願い込めて七夕飾りを作りました。将来の夢、家族の健康など、願いが叶いますように。笹竹は、鈴木修史(長龍寺)様からご協力いただきました。ありがとうございました。

学校の様子については随時学校ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。学校ホームページ <https://www.hosinuno.jp/>



